

我らの不快な隣人

統一教会から「救出」されたある女性信者の悲劇

著・米本和広

米本和広氏は『洗脳の楽園』（洋泉社／97年）、『カルトの子』（文藝春秋／2000年）（ともに大宅賞・講談社ノンフィクション賞候補作）などの著作から〈反カルト〉の第一人者として知られる書き手です。

著者八年ぶりの書き下ろしとなる本書は、2部構成のノンフィクションです。

第1部では、95年の合同結婚式に参加したものの、韓国での家庭出発が果たせぬまま強制説得によって退会した、ある女性信者の悲劇が描かれています。第2部では、その悲劇をもたらした「家族による拉致監禁」が、水面下で数千件も起こっていることを明らかにし、その原因を探っていきます。

ある日突然、信仰仲間が姿を消し、数ヶ月後に脱会届が送られてくる—みなさんのなかには、そんな光景を直接見聞きした経験のある方も多いと思います。

仲が良かった〈かつての仲間〉のその後の人生に思いを巡らせ、ご自身の信仰生活を振り返っていただくうえでも絶好の書であると自負しております。

ぜひ一度、最寄りの書店でお手にとってご覧下さい。

品切れの場合は取り寄せが可能ですので、下記にご記入の上、書店員にご注文下さい。

■プロローグ いい子になるから迎えに来て

■第一部 麻子の物語

- 第一章 四つの断章
- 第二章 私は統一教会信者です
- 第三章 あーちゃんを探さなきゃ
- 第四章 家族ごっこ
- 第五章 まだ原理を信じているのか
- 第六章 引き裂かれた家族
- 第七章 剥がれたメッキ

■第二部 カルトと反カルトの間で

- 第八章 暗い歴史
- 第九章 野犬狩り
- 第一〇章 再生か解体か
- 第十一章 借金集団
- 第一二章 信者とは誰か
- 第一三章 水面下の攻防
- 第一四章 韓国に渡った花嫁たち

■エピローグ 誰が家族を壊すのか



現地取材を敢行 韓国に渡った日本人花嫁6,500人の現在

最寄の書店で品切の際は、この注文票に必要事項をご記入の上、書店のご担当にお渡しいただくか、下記、弊社あてお電話、またはメールにてお申込み下さい。弊社から発送の場合、お支払いは代金引換となり、送料(500円)がかかります。

(株)情報センター出版局 Tel.03-3358-0231 E-Mail : info@4jc.co.jp

書店番線印	ご注文冊数	我らの不快な隣人		著・米本和広
		統一教会から「救出」されたある女性信者の悲劇		四六並製／408P／本体価格1600円＋税
		フリガナ		
	お名前	ご住所	〒	-
			都道府県	
	冊	ご連絡先電話番号 ()		